

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度 第2回加東市立図書館協議会
開催日時	令和6年3月21日（木）18時00分から19時30分まで
開催場所	加東市中央図書館 会議室（2階）
<p>◇協議事項</p> <p>（1） 令和5年度 図書館活動報告 説明：館長 会議資料に基づき説明 各館副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>（2） 令和6年度 事業計画 説明：各館副課長 会議資料に基づき説明</p> <p>（3） その他 説明：館長 会議資料に基づき説明</p> <p>◇協議の概要</p> <p>（1）令和5年度 図書館活動報告 議長：今の説明に関して、ご意見ご質問をお願いします。 委員：宅配サービスはどこで通知等されているのか。 事務局：広報かとう12月号と神戸新聞に掲載している。 委員：タクシーで図書館にわざわざ来られている方にそういうサービスをしてほしい。図書館内でもカウンターの所に貼るとか誰にでもわかるようにしてほしい。 事務局：中央図書館の館内にチラシを設置し、カウンターにも置いている。来られている方にチラシを渡して、こういうサービスもありますので、ご希望の場合はぜひお声がけください、と声かけしている。 議長：他になにかありますか。 委員：どこの図書館に行っても読書の啓発活動として、講座や催しのチラシや張り紙がたくさんある。その中に埋没しないように、この図書館の大きな取り組みとか、図書館での季節的な行事は、別置きでそこだけを見ればわかるような掲示の方法、チラシ物の置き方工夫してほしい。工夫次第で利用者の食いつきが良くなるような気がする。 事務局：いろいろと考えてみます。またご意見をください。 議長：各館より説明をお願いします。 各館、事務局から説明</p>	

議長：今の説明に関して、ご意見・ご質問をお願いします。

委員：中央図書館で、「夜の図書館」というのを23日に開催されるということで、すごくわくわく拝聴した。この日の時間的な流れを説明してください。

事務局：館自体は1時間開館延長し、20時まで開ける。その中で2つのイベントを行う。大人のためのおはなし会は19時から19時30分までの30分間で、2階会議室で開催をする予定。「おはなしサークル・ピッピ」さんに協力をいただき、初めてストーリーテリングを聴く大人対象にストーリーテリングを聞いていただく。

夜の図書館のための本を司書が選んで1階の方で展示をする。1時間延長している中で、普段は取れないゆっくり本を読む時間というのを図書館で取っていただきたいと思い企画した。

委員：細かくいうと、実は3本立てということですね。

1階でおすすめの本を展示。ぬいぐるみのおとまり会もする。

大人用には、30分間2階でおはなし会をするという。

事務局：はい。展示も入れますと3本立てです。

委員：このおはなし会というのは、要するに朗読会のようなものなのか。

事務局：まず詩の朗読を1つします。そのあとにストーリーテリングを3冊くらいする。

委員：詩の朗読とストーリーテリングの選択は読み手に任せるとのことか。

この大人のためのおはなし会というのは、初めてするのか。

事務局：「夜の図書館」というイベント自体が、新規のイベント。開館時間を1時間延長するというのも初めての企画。ただ、大人のためのおはなし会は何年か前に滝野図書館で絵本の読み聞かせを大人の方対象に行ったことがある。今回は絵本の読み聞かせではなくて完全にストーリーテリング（すばなし）で行う。

委員：確かに子どもの読み聞かせというのは一般的にどの市町でも実施しているが、活字離れは大人の方も顕著である。大人はいろいろなメディアを使い、自分で選べるが、それは自分の好みの範囲のことだけで、大人向けのおはなし会があれば、世界が広がるチャンスでもあるのかなと思った。

近隣でも朗読会を西脇や多可、小野市立図書館でもやっているが、加東市の図書館において朗読会みたいなことがあるというのを聞いたことがなかったので、新しい取り組みだなと思った。

中央図書館の本のリサイクルをありがたく活用している。

委員：東条学園では、昨年まで「おはなしくまのこ」さんに、1年生から4年生までを対象に読み聞かせをしてもらっていたのを、今年は全学年（1年生～9年

生)に広げてお願いしてみた。自分で読むのとは違って、誰かに読んでもらうのを聞くというのは、子どもたちは受け取り方が様々で、すごく心に響いたという感想が出てきた。先ほどの大人の方が誰かのおはなしを聞くとか本の紹介を聞くというのは大事なことで良い取組だなと思った。

取り組みを色々と学校司書がしてくれているが、ある時間はクラスごとの貸出冊数をトータルでグラフ化して何年何組が何冊借りた、というように見えるようにしている。それが励みになって借りに来るので、子どもたちは借りたものが目に見えるというのが嬉しいのかなと思った。今は図書室に来た子どもたちの色んな表情の写真を壁一面に繋げて貼っている。自分が図書室で読んでいる姿を見るのも素敵で、図書室で本を読んでもみようと思う工夫がされていて素晴らしいと思う。

議長：子どもの励みになるということで今思いついたが、スタンプカードのようなもので毎月1回行けば少しずつスタンプをもらうとかシールをもらうとか、そんなちょっとしたお楽しみがあれば子どもたちも月1回以上来てくれるのかなと思った。

事務局：中央図書館のおはなし会では、参加したらスタンプカードにスタンプを押し、全部押せたら手作りのメダルをあげるということをしている。

議長：そういうことがあることを知らなかった。やはり最初の経験が最初の入口になると思う。

(2) 令和6年度 事業計画

会議資料にて事務局説明

議長：今の説明に関して、ご意見・ご質問をお願いします。

議長：今のマイナンバーカードの方式に加えて、利用者は暗号か暗証番号を入れないといけないということか。

事務局：今は、ただマイナンバーカードを置くだけで貸出処理ができるが、令和6年9月からマイキープラットホームにアクセスし、そのカードの持ち主が本当にその方のものか、有効期限内のマイナンバーカードであるかという確認が必要になった。今ある図書館システムはインターネットに出ていけないので、別に端末を用意し、有効性の確認をしてから、マイナンバーカードを使うという方式になる。その際、登録の時の暗証番号が必要になる。

(3) その他

会議資料にて事務局説明

事務局：令和6年度の加東市立図書館（開館・休館）スケジュールは、教育委員会で承認済み。中央図書館書庫の工事のため長くて2か月間の休館予定。